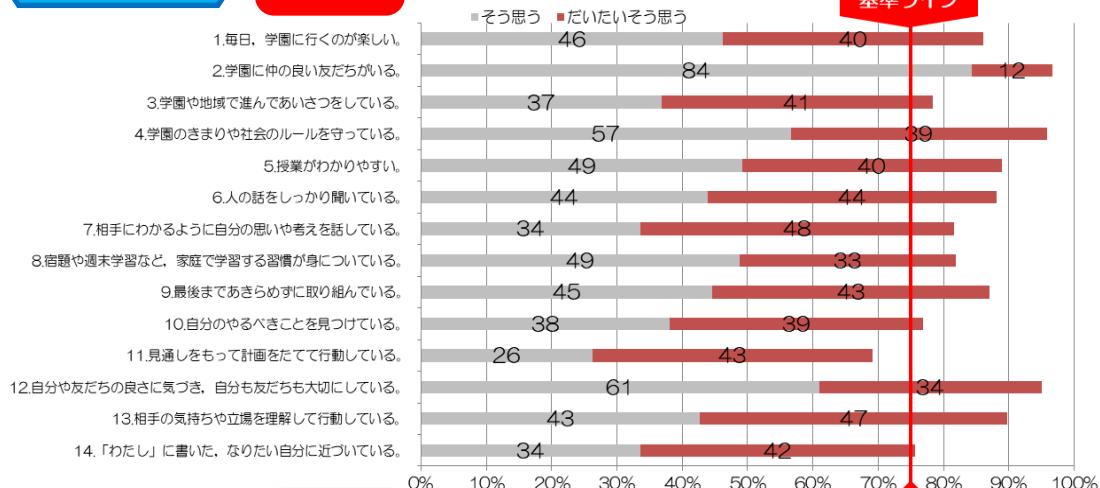


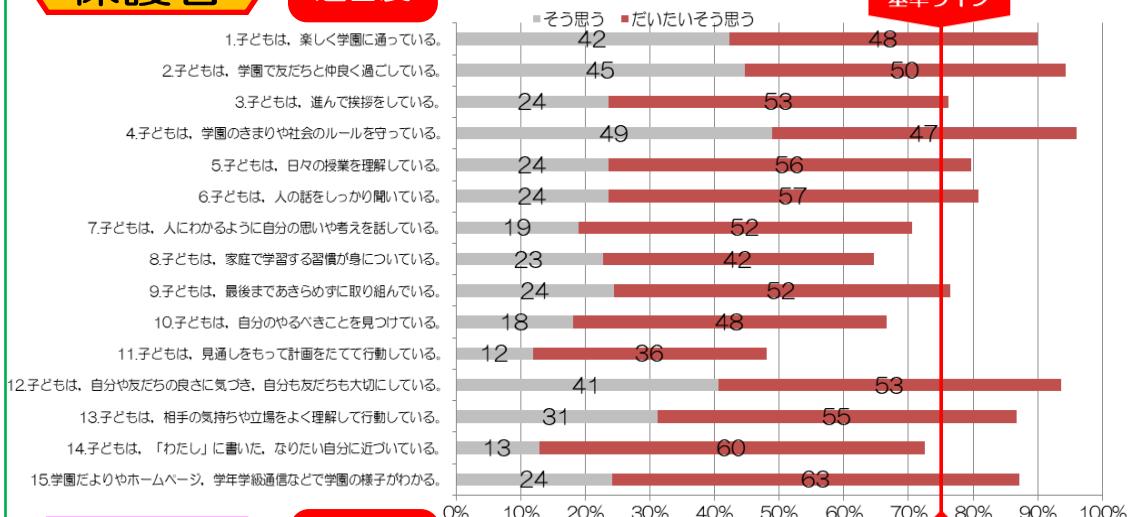
# 前期学園評価アンケート結果

令和3年  
8月実施

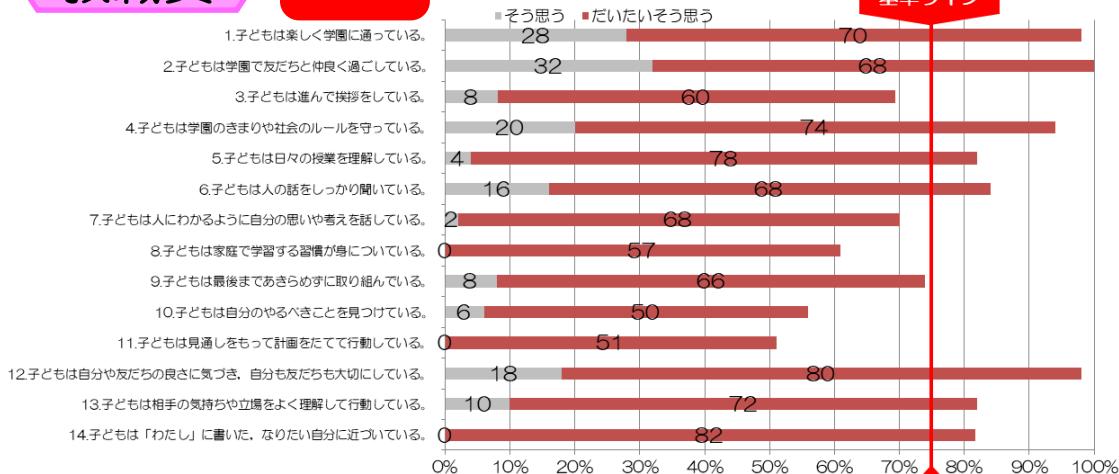
## 学園生 適合度



## 保護者 適合度



## 教職員 適合度



### 《実施方法と結果の見方について》

- 今回から学園生は一人一台配付されているGIGA端末を活用し、アンケートフォームにアクセスして回答しました。保護者の皆様にはお持ちの端末で学園生同様、回答していただきました。
- 新たに、見通しをもって行動する、気持ちや立場を理解する、なりたい自分になろうとするなど、キャリア教育の視点から、本学園で育成したい資質・能力について問う項目(9~14)を設けました。
- 肯定的な回答のみ(横棒グラフの左から「そう思う」「だいたいそう思う」の順)をグラフ化し、7.5%を判断の基準としています。

### 《結果をもとにした考察》

- <設問8>家庭での学習習慣については、どのステージにおいても基準ラインに達し、GIGA端末を活用した家庭学習や、授業と連動した家庭学習課題を課すなど取組の成果が表れてています。
- <設問12>自分も友だちも大切にしているについては、90%を超える高い値で、友だちと9年間と共に生活することで、お互いのことをよく理解し合うことができる、義務教育学校の強みだとえます。
- <設問11>見通しや計画については、全項目の中で最も低い値でした。計画表やスケジュールノートを活用し、自分の生活時間を客観的にとらえるようにしていただきたいと考えます。

今回のアンケートは、端末からアンケートフォームにアクセスしての回答としました。これまで同様に、アンケート用紙での回答も可能にしておりましたが、前回よりも回答数が大きく下回りました。この結果を次回の参考にさせていただきます。保護者の皆様には、お忙しい中アンケートにご協力をいただきありがとうございました。お書きいただいた内容から、保護者の方々のおもいをうかがうことができました。校内でしっかりと内容を共有し、今後の取組にいかしていくたいと思います。

学園運営協議会理事の皆様からは、義務教育学校の教育効果を認識していただいた一方で、多様な社会になっていくこれから時代に、学園生が多様な生き方に出会い、自分の生き方を形成していくことができる取組をすすめていくことが大切であるとご示唆いただきました。今後も家庭と地域、学園が連携・協働しながら、子どもをよりよく育んでいきたいと考えています。今後も引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。